


[P08] 米国大学に所蔵されている
対日文化政策に関する
占領期資料のデジタル化及び公開

京都精華大学 小泉真理子
金沢工業大学大学院 上條由紀子
株式会社シュヴァン 寺田遊

研究の背景

- 2000年頃～ 経済・外交における文化の重要性 
- 戦後の日本文化の基礎はどう形成されたか？
米国の占領政策の日本文化への影響は？
占領期の日本人の表現活動は？
- 国内には関係資料が少ない。なぜか？
連合軍最高司令官総司令部（GHQ）の検閲や
物資不足や劣悪な素材のため
- 海外への資料一部流出（例：ゴードン・W・プランゲ文庫）²

研究の目的

**世界中に散逸した当該資料を突き止め、
誰もが閲覧可能にすること**

本研究の対象資料

“Stanley Kaizawa Kabuki Collection”

- GHQが検閲した歌舞伎脚本原本（英語版）
- ハワイ大学マノア校図書館所蔵
- 構成：脚本（135本、3,350ページ）、写真（369枚）、カイザワ氏インタビューの音声データ等
- 当該資料からGHQの検閲方針を分析可
- 歴史的価値が高い

Kaizawa Collection より

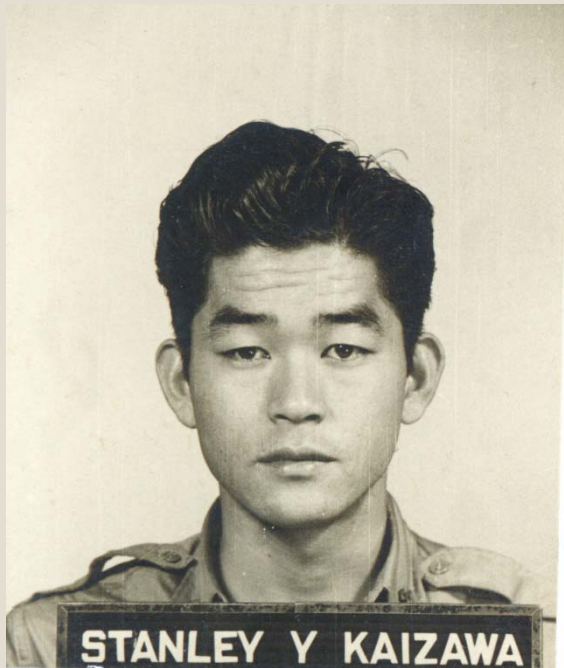


図1 Stanley Kaizawa氏
出典: ハワイ大学マノア校所蔵
”Kaizawa Stanley Kabuki Collection”

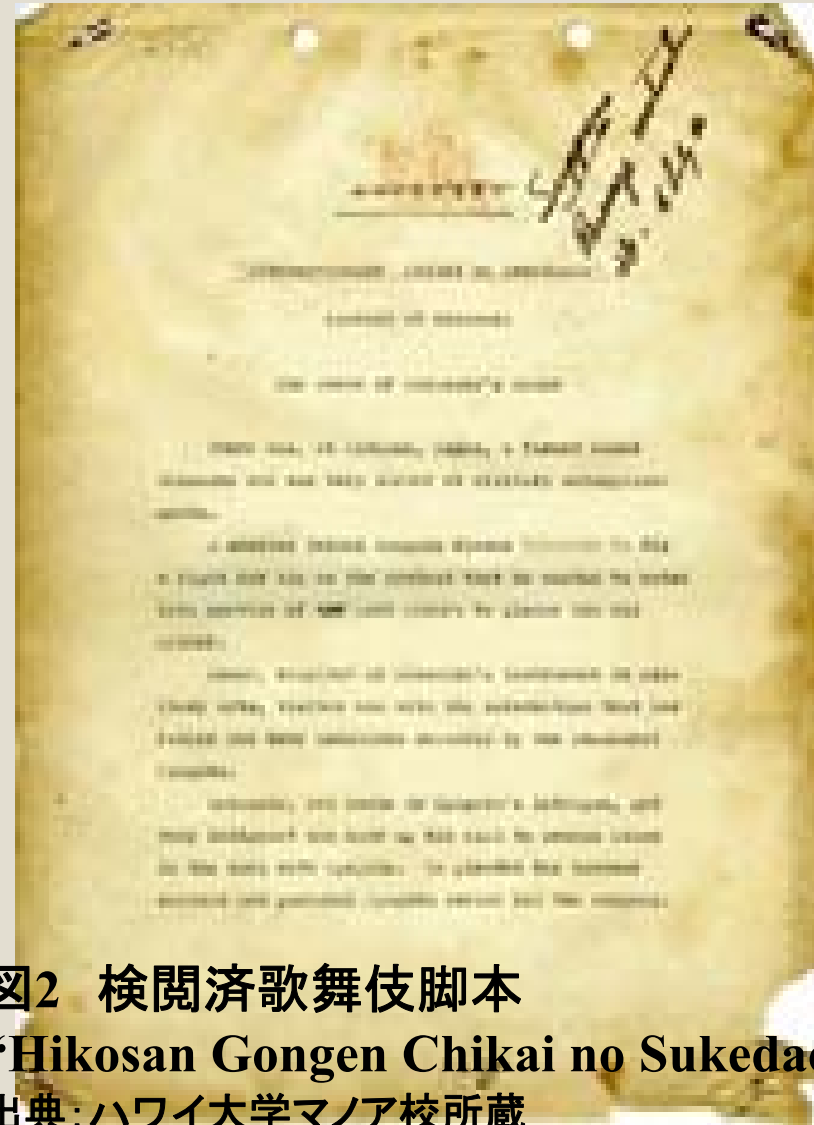


図2 検閲済歌舞伎脚本
“Hikosan Gongen Chikai no Sokedachi”
出典: ハワイ大学マノア校所蔵
”Kaizawa Stanley Kabuki Collection”

研究の内容：資料のデジタル化

2016年10月～2018年12月(予定)

ハワイ大学マノア校にてデジタル化

- **脚本/インタビューデータ：デジタル化、テキスト化**
- **写真：デジタル化、メタデータ作成**

2018年2月～

ハワイ大学マノア校レポジトリにて一部公開済／公開予定

<https://evols.library.manoa.hawaii.edu/handle/10524/57060>

研究の体制：グローバルな産学連携

日本：大学の研究者、著作権や電子出版の実務家

米国：大学図書館司書

**貴重資料に関心ある幅広い人を対象にした
デジタル・アーカイブの構築を目指す**